

「令和6年度 市民トーク」開催結果（萩間地区）

以下のとおり結果を報告します。

1 日時等

- (1) 日 時 7月4日（木） 午後7時00分～午後8時30分
- (2) 会 場 萩間コミュニティセンター
- (3) 内 容 市長からの市政報告・地区からの質問
- (4) 参加人数 36人

2 市長からの市政報告

当日の配布資料を添付

3 地区からの質問

別紙のとおり ※事前質問は回答書を配布・当日の会場での質問あり

4 当日の様子



令和6年度 市民トーク（萩間地区）質問・要望一覧

日時：令和6年7月4日（木）

19時～20時30分

場所：萩間コミュニティセンター

番号	事 項 名	担当部課
1	萩間小学校の跡地利用について	企画政策部
2	黒子の変則的な交差点について	建設課
3	空き家対策について	都市住宅課
4	耕作放棄地からの草木について	農林水産課
5	まちづくりの取組みについて	市政報告にて

※この他、提出いただきましたご質問につきましては、後日地区を通して回答いたします。

令和6年度 市民トーク 萩間地区（7/4 開催） 質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	①萩間小学校の跡地利用について
内 容	昨年 11 月に萩間地区の意見集約を行ったが、その後の検討状況を教えて欲しい。 【担当：企画政策部】
回 答	令和5年11月の意見交換会では、「閉校後の萩間小学校がどんな場になったら良いか」についてご意見を伺いました。 その後、今年の3月には意見交換会の結果を全戸に配布し、お知らせするとともに、更なる意見の募集を行ったところ、萩間小学校に対して6件のご意見をいただきました。 現在は、様々な業種の事業者を訪問し、意見収集を行っているところです。 具体的には、地域のみなさんの意見や市の現状（人口や産業等）、市の取組み、学校の立地状況などを踏まえ、その土地の市場性や校舎等の活用の可能性、利活用に対する意欲などについて幅広い意見を収集しているところです。 その後は、民間事業者の意向と市の取組み、地域の意見を加味し、方向性を検討していきます。

「閉校後の萩間小学校を、どんな場所にしていったら良いか」

投票結果

順位		得票数
1	校舎と萩間の自然と資源を活かしたレジャーができる場 *校舎を生かす (自然体験、宿泊施設グランピング、キャンプ、コワーキング+防災で使える)	14
2	小さい子からお年寄りまで寄りそいあえる場 (学校に行きづらい子も受け入れる、大人もほっとできるスペース)	9
2	買い物の利便性を向上させ、市民が集まる場所	9
4	企業を誘致して食べたり、雇用がうまれるようコラボする 企業誘致の場 雇用を創出して企業を誘致する	8
5	子どもとお年寄りが集える場 多くの世代が使えるにぎわいの場	7
6	公園化、スポーツできる皆のあそび場	6
6	生涯学習の場、農業者の育成の場	6
8	コミュニティと生涯学習の場	5
8	よそから来てもらえる宿泊体験の場	5
10	学校施設を活用した安心安全の場	3

グループでの話し合いで多かった意見

★交流の場

子どもからお年寄りまでが交流や学びができる場、学校に行きづらい子の場所

★地域の人が集う、多世代が使える場

子どもの遊び場、お年寄りのサロン活動の場

★企業誘致、雇用を創出する場

民間事業者に利用してもらい、働く場になる

★内外から人を呼び込む場

さがら子生れ温泉と連携した宿泊滞在ができる場、買い物ができる場、おしゃれな遊び場

★地域の資源を活かす場

農業体験や農業研修の場、自然体験の場

令和6年度 市民トーク

萩間地区（7/4 開催）

質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	②黒子の変則的な交差点について
内 容	優先道路である国道 473 号線の幅員が一番狭く、そこに交わる市道濁沢本線、市道白井本線が優先道路のように見えてしまう。 地元の住民は、優先道路がどれかは理解しているが、ほかの地区の方や外国人には、『止まれ』の標識があってもなかなか守れていないのが現状である。 毎日とは言わないが、運転していて、「ヒヤッと」したり「ムカッと」したりすることは珍しくありません。 優先道路が国道なので、市ではなく島田土木事務所（県）の管轄になるが、「ゆうせん」の文字を入れるとか、カラーリングをすることか、優先道路を無視されることを防ぐなら、市道側に「とまれ」の文字を入れるなど対策はできないか？ 走りにくい道路なので、大きな事故はないが、「ヒヤッと」したり「ムカッと」したりすることは、そのあとの運転にも悪影響である。道路のペイント費用は行政の負担となるが、良い回答を望む。 【担当：建設課】
回 答	黒子交差点については現地を確認し、事故発生の危険があると判断いたしましたので、市道 2 路線への止まれ等の路面標示については、公安委員会（警察署）と協議のうえ、設置します。 国道 473 号へのカラー舗装等の設置については、管理者であります島田土木事務所の判断になりますが、市より地域の要望を伝え、設置に向けた検討を依頼します。

黒子の変則的な交差点



令和6年度 市民トーク

萩間地区（7/4 開催）

質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	③空き家対策について
内 容	西萩間地区では、空き家が多く、自分が知っているだけで5軒くらいあり、その家の影響で、景観が悪くなったり、通行に障害があるなど、安心安全に支障が出ている。 市としての対応をどこに相談したらよいか教えて欲しい。 【担当：都市住宅課】
回 答	市では、地域で問題となっている空き家等については、市民や自治会などからの情報提供を基に現地調査を行っています。 本来、空き家の適切な管理は、所有者の責任において行われるべきであり、適切な管理がされていない空き家の所有者については、除却、修繕、立竹木の伐採、その他周辺の生活環境の保全を図るために必要な措置をとるよう助言又は指導を行い、適切な管理を促しています。 また、この他に、「空き家・空き地バンク」の物件登録を促進し、このバンクに登録された物件のリフォーム工事等に対して補助金の交付等をしております。 空き家等に対し困ったことや、相談等がありましたら、都市住宅課まで御連絡ください。

令和6年度 市民トーク

萩間地区（7/4 開催）

質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	④耕作放棄地からの草木について
内 容	ガードレールを乗り越え、公道にはみ出し、道路幅を狭めている耕作放棄地からの草木について。 当然、畑の持ち主が他に迷惑を掛けないように管理するのが本来だが、高齢で除草作業ができない、農業そのものを廃業してしまった等の理由で耕作放棄地となり、除草されなくなった草木・雑草は誰が始末するのか。 自治会の役員に相談されても対応に困るし、言い方が悪いかもしれないが、「ずる」をしている人の後始末を代わりにするようなお人好しにはなれない。 市では、今後も増えることが考えられるこの問題をどう考えているのかお聞きしたい。 【担当：農林水産課】
回 答	農地は、個人の財産であることから、ご自身で草刈り等が実施できない場合には、シルバー人材センターや土木事業者へ直接委託してもらうなど、土地所有者に適正な管理をお願いしております。 通行に支障が生じる場合には、道路管理者から所有者に連絡のうえ、その状況に応じて、民法233条に基づき、道路管理者が通行に支障が生じている草木の除草を行っております。

令和 6 年度 市民トーク
萩間地区（7/4 開催）
質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	⑤まちづくりの取組みについて
内 容	牧之原市の少子化対策を具体的に教えて欲しい。 また、人が来たくなるような魅力的なまちづくりのために、どのようなことをやっているのか教えて欲しい。
回 答	市長からの市政報告で説明させていただきます。

「市民トーク（萩間地区）」の当日参加者による質問

※会場での質疑応答になりますので、標記が口語体になる場合があります。

追加質問 1 ③空き家対策について

空き家対策について再度質問します。空き家が管理されていない場合、所有者に連絡すると言うが、空き家の所有者がわからない場合はどうしますか？

【回答者（建設部長）】

空き家の所有者がわからない場合ということですが、基本的に住んでなくても固定資産税が建物に対してかかっている場合があるので、例えば相続等がなされていなくても、関係する方などがある程度把握して、その方たちにご通知をしています。

【質問者】

それがずっと無視されてしまうと、どんどん草が生えてしまい、適正に管理されなくなるので、それをどこに言ったらよいか？

【回答者（建設部長）】

具体的にお示しいただければ、我々の方から通知をしていきたいと思います。

【質問者】

自分自身で市役所にどうにかして欲しいって言えば良いということですか。

【回答者（建設部長）】

私どもがわからないところがあったりしますので、空き家になっている場所を教えてくださいただければ、まず市で対応できることをしていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

追加質問 2 女性や若者向けの市民トークについて

区長や区の役員といった、ある意味年齢のいった方ではなくて、女性とか特に若者20代30代に対して、こういう説明会というのは何かされていますか。

【回答者（市長）】

市政報告については、この市民トークでやっています。

この市民トークは、いわゆる区の役員だけが対象ではなく、全市民を対象にやっていますので、誰が来てもいいわけですが、若い女性だけ来てくださいと言ってもなかなか来ないので、情報発信としては市のホームページや市の LINE、広報まきのほらなどでお伝えするしかないというのが現状です。

それから若い人たちに関しては、榛原高校・相良高校でほぼ同様の話を行っていて、現状はこうですよ、将来的には君たちが背負っていくというのと、地域にやっぱり郷土愛というのを持って、一旦は大学へ行くかもしれないけど、ぜひ将来は帰ってきて、地域で活躍してほしいという話を高校生にしています。

あと学校再編の話などはPTAの皆さんでやらせていただいています、私の実感としては、ぜひこの場にもっと若い人が来てくれるといいなと思います。